



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月25日

上場会社名 日本精化株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 4362 URL <http://www.nipponseika.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 矢野 進
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 深瀬 真一 TEL (06)6231-4781
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	18,307	△11.4	1,172	△60.1	1,275	△58.4	766	△47.2
22年3月期第3四半期	20,665	3.5	2,938	118.6	3,061	111.6	1,450	76.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	32 26	-
22年3月期第3四半期	61 05	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	30,188	23,607	76.9	977 33
22年3月期	31,602	23,621	73.5	977 39

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 23,212百万円 22年3月期 23,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	-	11 00	-	11 00	22 00
23年3月期	-	11 00	-		
23年3月期(予想)				11 00	22 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	25,000	△9.2	1,500	△53.4	1,550	△54.1	950	△38.8	39 99	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	25,372,447株	22年3月期	25,372,447株
23年3月期3Q	1,621,580株	22年3月期	1,621,183株
23年3月期3Q	23,751,204株	22年3月期3Q	23,751,462株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善に伴う輸出及び生産や、各種対策の効果による個人消費の持ち直しなどによって、景気は緩やかに回復しつつありましたが、このところ足踏み状態となっております。また、為替レート及び株価の変動や、雇用情勢の悪化懸念など、依然として厳しい状況で推移してまいりました。

このような事業環境のなかで、当社グループは新製品上市による競争力の強化、新規テーマの獲得とその拡販に努めてまいりましたが、感染予防対策関連商品の需要の減少により、家庭用製品事業では売上高・利益が減少いたしました。一方、工業用製品事業では、販売数量の増加により、売上高・利益が増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は183億7百万円（前年同期比11.4%減）と減収となりました。利益面では営業利益11億7千2百万円（同60.1%減）、経常利益12億7千5百万円（同58.4%減）となり、四半期純利益でも7億6千6百万円（同47.2%減）と減益となりました。

〔工業用製品〕

化粧品用原料及び医薬中間体の販売数量が増加したことにより、売上高・利益ともに増加いたしました。

〔家庭用製品〕

手指消毒剤をはじめとした感染予防対策関連商品の需要の減少により、売上高が減少いたしました。また、たな卸資産の評価下げにより、利益も減少いたしました。

〔不動産〕

マンション分譲事業における完成済物件の販売減により、売上高・利益ともに減少いたしました。

〔その他〕

医薬品業界からの薬理・安全性試験の受託増により、売上高・利益ともに増加いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比14億1千3百万円減少し、301億8千8百万円となりました。これは主として、商品及び製品並びに販売用不動産の減少などにより流動資産が6億5千6百万円減少し、投資有価証券の売却及び償還などにより固定資産が7億5千7百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は前期末比14億円減少し、65億8千万円となりました。これは主として、未払法人税等などの減少により流動負債が13億6千6百万円減少し、繰延税金負債などの減少により固定負債が3千4百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前期末比1千3百万円減少し、236億7百万円となりました。これは主として、四半期純利益の計上7億6千6百万円及び配当金の支払い5億2千2百万円により株主資本が2億4千3百万円増加する一方で、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定などの減少により評価・換算差額等が2億4千4百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間の売上高は、概ね計画どおりに推移しており、平成22年10月26日公表の業績予想に修正はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積もりを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

②特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益が35,430千円減少しております。

・「企業結合に関する会計基準」等の適用

第2四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,459,521	3,617,404
受取手形及び売掛金	6,777,017	6,687,260
商品及び製品	1,896,724	2,437,886
販売用不動産	727,480	1,248,851
仕掛品	1,205,928	978,626
仕掛販売用不動産	457,853	522,798
原材料及び貯蔵品	1,483,215	1,160,289
繰延税金資産	253,012	361,741
その他	359,036	247,216
貸倒引当金	△22,226	△8,255
流動資産合計	16,597,564	17,253,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,950,304	3,042,978
機械装置及び運搬具(純額)	987,263	1,118,959
土地	3,906,943	4,028,784
建設仮勘定	99,010	253,767
その他(純額)	371,043	287,583
有形固定資産合計	8,314,564	8,732,072
無形固定資産	346,586	318,972
投資その他の資産		
投資有価証券	4,459,686	5,117,674
その他	469,822	179,572
投資その他の資産合計	4,929,508	5,297,247
固定資産合計	13,590,660	14,348,292
資産合計	30,188,225	31,602,113

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,912,018	3,807,340
未払金	444,109	635,324
未払法人税等	59,925	1,222,455
繰延税金負債	—	158
賞与引当金	198,805	455,343
役員賞与引当金	36,258	98,724
その他	801,420	599,285
流動負債合計	5,452,538	6,818,632
固定負債		
繰延税金負債	324,241	374,380
退職給付引当金	589,411	597,054
長期未払金	55,633	62,977
長期預り保証金	116,160	117,881
資産除去債務	35,430	—
その他	7,276	9,943
固定負債合計	1,128,152	1,162,236
負債合計	6,580,690	7,980,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,933,221	5,933,221
資本剰余金	6,803,362	6,803,362
利益剰余金	11,110,714	10,867,368
自己株式	△1,021,627	△1,021,416
株主資本合計	22,825,670	22,582,537
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	610,471	695,494
繰延ヘッジ損益	△4,247	2,038
為替換算調整勘定	△219,365	△65,727
評価・換算差額等合計	386,859	631,805
少数株主持分	395,004	406,901
純資産合計	23,607,534	23,621,244
負債純資産合計	30,188,225	31,602,113

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	20,665,085	18,307,038
売上原価	14,629,544	14,100,614
売上総利益	6,035,540	4,206,424
販売費及び一般管理費	3,097,373	3,033,509
営業利益	2,938,167	1,172,914
営業外収益		
受取利息	16,925	20,276
受取配当金	87,902	93,945
雑収入	39,180	23,414
営業外収益合計	144,007	137,637
営業外費用		
支払利息	3,854	2,656
為替差損	9,312	31,523
雑損失	7,038	1,338
営業外費用合計	20,205	35,518
経常利益	3,061,969	1,275,033
特別利益		
固定資産売却益	20,991	74,398
投資有価証券売却益	246	7,101
ゴルフ会員権売却益	—	476
貸倒引当金戻入額	—	587
負ののれん発生益	—	4,833
特別利益合計	21,237	87,397
特別損失		
固定資産売却損	35	8,363
固定資産除却損	19,651	16,785
投資有価証券評価損	1,642	4,617
減損損失	300,329	—
持分変動損失	6,040	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	35,430
特別損失合計	327,699	65,196
税金等調整前四半期純利益	2,755,507	1,297,234
法人税、住民税及び事業税	1,251,173	365,148
法人税等調整額	28,457	122,562
法人税等合計	1,279,631	487,711
少数株主損益調整前四半期純利益	—	809,522
少数株主利益	25,724	43,242
四半期純利益	1,450,151	766,280

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	7,239,262	5,973,237
売上原価	4,985,191	4,697,965
売上総利益	2,254,071	1,275,272
販売費及び一般管理費	1,050,314	1,015,119
営業利益	1,203,756	260,153
営業外収益		
受取利息	8,865	11,228
受取配当金	41,158	43,131
為替差益	5,629	—
雑収入	15,949	7,862
営業外収益合計	71,603	62,222
営業外費用		
支払利息	1,257	750
為替差損	—	12,971
雑損失	3,653	855
営業外費用合計	4,911	14,578
経常利益	1,270,448	307,797
特別利益		
固定資産売却益	20,991	—
投資有価証券売却益	—	7,101
ゴルフ会員権売却益	—	476
特別利益合計	20,991	7,577
特別損失		
固定資産売却損	7	8,363
固定資産除却損	2,627	1,560
投資有価証券評価損	1,642	—
持分変動損失	6,040	—
特別損失合計	10,317	9,923
税金等調整前四半期純利益	1,281,122	305,451
法人税、住民税及び事業税	480,438	111,958
法人税等調整額	27,801	6,177
法人税等合計	508,240	118,135
少数株主損益調整前四半期純利益	—	187,315
少数株主利益	13,831	9,764
四半期純利益	759,050	177,550

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,755,507	1,297,234
減価償却費	556,459	557,785
減損損失	300,329	—
のれん償却額	1,155	1,110
負ののれん償却額	△745	△745
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,074	13,970
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21,625	△7,643
受取利息及び受取配当金	△104,827	△114,222
支払利息	3,854	2,656
為替差損益(△は益)	△10	1,662
投資有価証券評価損益(△は益)	1,642	4,617
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,304	△49,249
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	35,430
売上債権の増減額(△は増加)	△1,435,881	△110,236
持分変動損益(△は益)	6,040	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	△240,784	554,977
預り保証金の増減額(△は減少)	△22,708	△1,720
仕入債務の増減額(△は減少)	2,333,047	104,022
その他	△243,222	△334,876
小計	3,936,252	1,954,771
利息及び配当金の受取額	105,221	116,387
利息の支払額	△3,854	△2,656
法人税等の支払額	△577,591	△1,498,389
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,460,027	570,113
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△680,969	△1,376,802
定期預金の払戻による収入	40,620	88,959
有形固定資産の取得による支出	△449,264	△543,347
有形固定資産の売却による収入	54,533	303,800
無形固定資産の取得による支出	—	△63,506
投資有価証券の取得による支出	△833	△297,121
投資有価証券の売却による収入	479	1
投資有価証券の償還による収入	—	800,000
子会社出資金の取得による支出	—	△6,581
貸付金の回収による収入	687	690
その他	—	476
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,034,746	△1,093,431
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400,000	—
少数株主からの払込みによる収入	21,066	—
リース債務の返済による支出	△2,515	△2,666
配当金の支払額	△498,781	△522,527
少数株主への配当金の支払額	△4,160	△4,803
自己株式の取得による支出	△137	△211
自己株式の売却による収入	13	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△884,514	△530,208
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53,795	△31,047
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,486,969	△1,084,574
現金及び現金同等物の期首残高	1,406,732	2,998,638
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,893,702	1,914,064

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：千円)

	工業用製品 事業	家庭用製品 事業	不動産 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,484,908	7,417,492	1,194,277	568,406	20,665,085	—	20,665,085
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	137,114	99,461	20,265	400	257,241	(257,241)	—
計	11,622,022	7,516,953	1,214,542	568,806	20,922,326	(257,241)	20,665,085
営業利益	783,433	2,013,415	63,713	77,605	2,938,167	(—)	2,938,167

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2. 事業区分の主要製品

工業用製品事業・・・化粧品用原料、医薬中間体、樹脂添加剤、皮革油剤、植物性油脂、合成樹脂製品

家庭用製品事業・・・業務用洗剤、薬用石けん液、除菌・殺菌剤、防虫剤

不動産事業・・・戸建・マンション販売、ビルの賃貸

その他の事業・・・薬理、安全性試験の受託

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

I 海外売上高(千円)	2,379,251
II 連結売上高(千円)	20,665,085
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.5

(注) 売上高(内部売上高及び振替高を除く)が連結売上高の10%以上である国または地域はありません。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、当社及び子会社の構成単位に分離された財務諸表に基づき、製品・サービス別に構成した事業単位について、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。当社は、「工業用製品事業」、「家庭用製品事業」、「不動産事業」、「その他の事業」を報告セグメントとしております。

「工業用製品事業」は、化粧用原料、医薬中間体、樹脂添加剤、皮革油剤、植物性油脂、合成樹脂製品などの製造販売及び仕入販売を行っております。「家庭用製品事業」は、業務用洗剤、薬用石けん液、除菌・殺菌剤、防虫剤などの製造販売を行っております。「不動産事業」は、戸建・マンション販売、ビルの賃貸を行っております。「その他の事業」は、薬理、安全性試験の受託を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額
	工業用製品事業	家庭用製品事業	不動産事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,620,001	4,113,994	962,697	610,345	18,307,038	—	18,307,038
セグメント間の内部売上高又は振替高	106,793	42,289	21,370	400	170,853	(170,853)	—
計	12,726,794	4,156,284	984,067	610,745	18,477,892	(170,853)	18,307,038
セグメント利益	988,429	17,191	62,624	104,669	1,172,914	(—)	1,172,914

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。